

命の水を守る

もし、死にかけた人がいたら、家族は勿論、友人、知人、親せき、たぐさんの人たちが枕もとにつき添って、どうしたらその人の命が守れるか真げんに考えるにちがいありません。医者はカンフルを打ち、宗教家はお祈りをするでしょう。

今、霞ヶ浦は死にかけた病人なのです。このままほうつておかれたら遠からず死んでしまいます。

その昔、詩や歌によまれ、絵にかかれた霞ヶ浦の姿は今ありません。

アオコの異常発生で蛍光塗料をべつたり流したようなみどり色をし、死んだ魚の臭いがしています。

面積百七十八平方キロメートル、関東最大の湖は、今途方もなく大きなドブになりつつあるのです。

しかもCOD10PPM以上、水道用水に必要な最低限の基準はいうに及ばず、工業用水二級の限度すらもはるかに下まわつた水を何とか科学的に処理してわたしたら

土浦市民は毎日飲んで居るのです。

今年の夏、千三百トンもの大量の鯉が死にました。鯉は自らを犠牲にして、わたしたちへ警告を発してくれたのです。わたしたちは、いったい鯉もワカサギも、白魚も死に絶えた湖の水を安心して飲むことができるでしょう

うか。子どもたちは学校で運動をし、汗をかき、どんなに

どがかわいても、学校の水は水道の生水だから、カビくさく、ドブくさく飲んで飲めないといっています。

われしたちは、子どもたちが学校で、家庭で安心して飲むことのできる水を要求したいのです。それは憲法に保証された健康で文化的な生活を営む権利を要求することであり、少しもせいたくも我ままなことではないと信じます。

生活の中で一番たいせつなものは水です。水を守ることは、命を守ることにほかならないのです。

何よりもまず、みなさんご自身の目で、霞ヶ浦の水の汚れを確かめてください。そして、この水を飲んで居るわたしたちや、子どもたちが将来健康な生活を送っているのかどうかということについて真剣に考えていただきたいと思うのです。

土浦の自然を守る会は、果年早々霞ヶ浦を浄化するための具体的提案事項をもちこんだ陳情署名運動を始める計画しております。陳情書は環境庁、建設省、茨城県に対して提出する予定です。

わたしたちの命の水を守るため市民のみなさんのご協力をお願いいたします。

土浦の自然を守る会